

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備維持補修又は維持運営等措置	十津川村衛生センターごみ焼却施設建屋補修工事・整備補修工事	十津川村	33,333,000	33,333,000	総事業費 56,143,800

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備維持補修又は維持運営等措置	十津川村衛生センターごみ焼却施設建屋補修工事・整備補修工事			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		十津川村			
交付金事業実施場所		十津川村大字高滝			
交付金事業の概要		本村のごみ焼却施設は平成4年度に建設し築23年が経過しています。建屋は建築以来維持補修工事を行っておらず壁面からの雨漏りが発生し業務の支障や機器の故障を招きかねないため、補修工事を行います。また、施設内機器においては、緊急性の高い箇所の整備補修工事を実施します。			
総事業費		56,143,800	交付金充当額	33,333,000	
			うち文部科学省分	0	
			うち経済産業省分	33,333,000	
交付金事業の成果目標		建屋の補修工事を行い、雨漏りの改善と施設の延命化を図ります。また、施設内機器においては日常業務での点検や整備補修点検で検出された補修の必要な箇所を工事し、機器全体の延命化や公害の暴露防止など安全な運転管理を図ることを目的とします。			
交付金事業の成果指標		ごみ焼却施設の円滑な運用を目指します。(平成27年度可燃ごみ処理量 1,163t)			
交付金事業の成果及び評価		ごみ焼却施設建屋補修工事では、長年老化により発生していた壁面からの雨漏り、床面の水たまりが解消され建屋の耐久性が向上したのはもちろん、雨漏り等で懸念されていた建屋内機器の故障の心配も解消されました。施設整備工事については日常業務での点検や整備補修点検で検出された補修の必要な箇所を工事し、機器の延命化が図られました。稼働日数や処理能力も前年と変わらず行われています。			
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法等		契約の相手方	
建屋補修工事		指名競争入札		藤村建設株式会社	
建屋補修工事		指名競争入札		近畿工業株式会社	
		計		56,143,800	
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無		交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	
				該当なし	